

東北支部

支部長 木村祐輔

日本死の臨床研究会東北支部会員の皆様、この度、岩手県立中部病院の星野 彰先生より東北支部長のバトンを引き継ぎました岩手医科大学緩和医療学科の木村祐輔です。星野先生が7年間にわたり粉骨砕身され、皆様と共にここまで築いてこられた東北支部をまとめるという大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでおります。新型コロナウイルス拡大の影響により、昨年まで当たり前でありました皆様と直接お会いし様々に情報や想いを共有する、ということが叶わない状況がつづいておりますが、東北の地において本研究会の益々の発展を目指しまして、これまで以上に力を尽くして参りたいと思っておりますので、今後ともより一層のお力添えを頂きますようお願い申し上げます。また、支部長交代に伴いまして、事務局も岩手医科大学緩和医療学科に変更となりました。ご意見等ございましたら下記まで気軽にお問い合わせください。

【2019 年度活動報告】

2019 年度東北支部大会は、秋山博実大会長のもと、5 月 25 日（土）に大曲厚生医療センターにて開催されました。新城拓也先生（しんじょう医院院長）をお迎えし、『病院？ホスピス？それとも自宅？～病人は何を考慮どう過ごしているのか？～』と題してご講演を頂戴いたしました。新城先生の豊富なご経験をもとにされたお話しは、私も含めまして、ご参加された方々にとり大変新鮮であり、大いに刺激をいただきました。遠方よりお越しいただいた新城先生に心から御礼を申し上げます。

【2020 年度活動報告】

本年度の東北支部会は、坪井病院（福島県郡山市）の主催で、5 月 30 日（土）にけんしん郡山文化センターを会場として開催を予定しておりました。特別講演には郡山市ご出身の山崎章郎先生（ケアタウン小平クリニック院長）をお迎えしてお話を頂く予定でした。しかし、年初から拡大して参りました新型コロナウイルスの影響を考慮し、星野先生を中心とした東北支部世話人の方々との協議の上、3 月 11 日に本年の開催中止と来年への延期を決定いたしました。今後、コロナ禍がどのような状況となるか現時点では予測が付きませんが、来年には、郡山の地において皆様と対面の形でお会いできることを心から祈念しております。

【東北支部入会の問い合わせ】

本会の目的は、死の臨床において患者さんやご家族への真の援助の道を全人的立場から考えていくことです。関心のある方はどなたでも入会を歓迎いたします。入会手続きにつきましては、お気軽に下記事務局までご連絡ください。支部入会金、並びに支部年会費ともに 1000 円です。

【日本死の臨床研究会 東北支部事務局】

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1-1

岩手医科大学附属病院緩和医療学科

電話：019-613-7111（代表）

FAX：019-907-8468

担当：木村・川村